翔鷹

アブダビ日本人学校　学校だより

令和2年度
11月号
R2.11.1発行
編集：教頭

初登校

校長　宮﨑　幸夫

10月1日、ようやく校長、教頭共にアブダビに到着しました。飛行機で12時間の距離を半年かかって赴任したかと思うと、歩いてきたのではないかと錯覚するような6ヶ月間でした。14日までの自宅待機を終え、15日午後から学校で執務を行っております。赴任に際しまして日本大使館荻野領事様をはじめ学校運営委員会の理事長様、理事の皆様方には多方面に置きましてご尽力をいただき感謝しております。本当にありがとうございました。

4月から9月までの半年間、日本待機ということで文部科学省派遣職員、NPO派遣職員、現地職員が協力し、アブダビ日本人学校を守ってくれました。皆さんにも感謝したいと思います。本当にありがとうございました。

日本での待機期間中はリモートで入学式、一学期始業式、終業式、そして二学期の始業式まで行い、毎日、授業でまだ見ぬ児童・生徒の皆さんとふれあいを持ってきました。私のたっての意向で、読書の推進にも力を入れることができ、児童・生徒の皆さんの読書量、そして、先生方の読書量まで飛躍的に増加したのは大変うれしかったです。保護者の皆さんが読み聞かせボランティアを申し出てくださったことも大きな進歩です。本当にありがとうございます。言い出しっぺの私も、日本待機の半年で小説（一冊400ページから500ページくらいの本）を60冊近く読むことができました。初めて読む本もあれば、過去に読んだ本も二度目三度目の読書の機会を持つことができました。

今年の読書週間は10月27日（火）～11月9日（月）です。

読書の面白さは、1ページ目は全く興味がわかなくても少しずつ読むにしたがってどんどん引き込まれ、知らない間に1分、5分、10分のわずかな時間を見つけても本に向かう、知らず知らずに向かっている、そして気が付けば1日に100ページ、200ページを読んでしまっているところにあります。

ただ読み進めるだけではなく、「この作者は次にどのようなことを書くのだろう？」「このストーリーはこれからどのような展開をしていくのだろう？」「この登場人物の次のセリフはどのようなことを言うのだろう？」と想像がどんどん膨らんでいきます。そして、その想像がぴったり当たると嬉しくなり、満足ができ、さらに読書のスピードが速まっていきます。この快感は何とも言えないものです。

昨今の活字離れによる日本語力の低下、日本でも大きな教育課題となっています。海外にある日本人学校は日常日本語に触れる場面が日本での生活に比べるとはるかに少なくなりますが、読書を推進することで日本での生活以上に日本語の活字に触れることができる事は多くの研究でも実証されています。

まずはお父さん、お母さんが読書に向かう姿勢を見せてあげてください。子供たちと本の共有をすることも良いことだと思います。そして、読んだ本について率直に語り合ってください。日本人学校の子供たちにはそういった活動が必要だと思います。今年の読書週間のキャッチフレーズは**【ラストページまで駆け抜けて】**です。まずは、お父さん、お母さんがお手本になっていただければと思います。日本人学校の図書館をおおいに利用してほしいと思います。

【 11月　November 】

日	曜	主な行事(授業日数　22)
1	日	グループＡ登校
2	月	エミラティ集会
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	
7	土	
8	日	グループＢ登校
9	月	
10	火	
11	水	
12	木	
13	金	
14	土	
15	日	グループＡ登校
16	月	
17	火	
18	水	期末テスト①
19	木	期末テスト②
20	金	
21	土	
22	日	グループＢ登校
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	
29	日	全校e-Learning
30	月	全校e-Learning

ＡＤＥＫの規制によりＧ６～Ｇ９はe-Learning が継続されます

↑半年ぶりに登校し顔を合わせた G7.G8.の生徒

＜中学部定期テスト＞

10/14(水)15(木) ADEK から特別に許可をもらい、半年ぶりに中学部生徒が登校し、定期テストを実施することができました。テスト範囲が広く試験勉強は大変だったと思いますがみなさんよく頑張りました。

＜オンライン学級懇談会 9/30(水)10/5(月)＞
保護者の方々からのご意見

・学校を楽しみにしているので、毎日登校ができるようになってほしいです。
・学習時間が延びてもいいので、お弁当を食べたい。隔週ごとのために、かえって生活のリズムをつかむのが難しいです。
・オンラインの週は、かなりストレスを感じている。もう少し学校に通う頻度や時間を増やせないでしょうか。
・子どもたちが登校できる週を楽しみにしています。
・G6 児童は特別に登校ができて、とてもよかったです。
・例年行われている小学部の実力テストも、実施ししてほしい。
・中学部の定期テストについて心配していましたが、学校に登校して実施していただき、安心しました。

G4↓＜オンラインで日本の学校と交流！＞↑G5

10 月 21 日（水）と 27 日（火）の 2 回に分けて、東京女学館小学校とのオンライン授業が実施されました。第 1 回目は本校 G5 の 4 名、第 2 回目は本校 G4 の 9 名と交流学習を行いました。東京からは学校行事の紹介や、日本の伝統的な遊びなどが紹介、発表の仕方が大変工夫されていて、楽器の演奏や、けん玉の実演などもあり、とても素晴らしい発表でした。アブダビからは UAE の国の特徴や自然環境、日本人学校の生活、コロナ対策などについて紹介しました。UAE のことをあまり知らない東京の児童たちは、興味深げにワクワクしながら発表を聞いていました。また、G4 も G 5 も落ち着いて、しっかりと発表ができました。質問タイムではお互いに積極的に質問をし、活発な意見交換ができました。コロナ禍という状況の中ですが、子どもたちが意欲的に意見を交わし、お互いに見聞を広げることができた有意義なオンライン交流となりました。